



迎春

年頭のごあいさつ

活力ある村づくりをめざして

東秩父村長 若林 全

明けましておめでとうございます。
います。

村民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

日ごろより本村行政運営に對しましては、温かいご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。近年、日本を取り巻く経済状況はますます厳しさを増し、予断を許さない状況が続いておりますが、自主財源の乏しい本村におきましても、財政状況が厳

しい状況に変わりありません。

しかしながら、幸いにも今年度は、村の歳入の骨格をなす地方交付税の増額や宝くじ協会助成金の採択により、新たな観光の拠点となる大内沢地内花桃の郷整備事業の実施、東秩父中学校校舎及び体育館耐震補強工事などの諸事業にも着手することができました。また3月には、地域情報通信基盤整備事業によつて、光ファイバー網が整備され、「フレッツ光」サービスが

提供される予定です。村民の皆様には、積極的にご加入していただきますようお願い申し上げます。

また、平成23年度からの10年間の村の方向を定める新東秩父村づくり基本構想「第5次総合振興計画」、昨年4月に過疎地域として指定された「過疎地域自立促進特別措置法に基づく東秩父村過疎地域自立促進計画」が議会で承認され、決定しました。

第5次総合振興計画策定にあたりましては、村民の皆様からたくさんのご意見やご協力をいただき、より充実した第5次総合振興計画が策定できましたことに感謝申し上げます。

今後は、これらの計画を基に今まで以上に住み良い村づくりを目指して、村民の皆さんと力を合わせて、さらなる生活基盤の強化や子育て支援、福祉の充実などに取り組んでまいります。村民の皆様には、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が良き年となりますようご祈念し、新年のごあいさつといたします。

新春を迎えて

東秩父村議会議長 足立 理助

明けましておめでとうございます。
います。

村民の皆様には、おだやかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返りますと、皆様方のご協力をいただき、審議策定作業を進めてまいりました第5次総合振興計画が、12月の定例議会で議決をいただきました。多くの皆様に貴重なご提言を賜り、厚く感謝を申し上げます。

内容につきまして「人・自然・経済を“元氣”にする村づくり」を基本に据えて将来の姿を描きながら、村の基本計画と合わせて村政の活動指針として取り組んでまいります。

また、村は昨年4月に過疎地域の市町村として指定され、「過疎地域自立促進特別措置法に基づく計画」の作成を進め、地域の特性を生かした企業の誘致や新規産業支援、さらに観光業を

推進し交流人口の増大を図り、人口の定着に結び付く施策を皆様の意見を伺いながら展開してまいります。

また、地域間の情報格差を解消するため「光ファイバー」の整備推進に取り組んでまいりました。この事業はブロードバンドの普及を目指す総務省の「光の道」構想のもと国の財政支援を得て、総事業費2億1千万円の工事が進められてまいりました。

た。この2月に完了し、3月からサービスの開始が予定されています。教育や行政、医療分野など日々の生活に密着した未知数の活用が期待されています。各世帯のご加入をお願いいたします。人口の減少や少子高齢化社会など、地方の疲弊が止まらない現状の厳しさは強く感じておりますが、議員一同、地域の声を大きく反映させるように努力してまいります。

今後とも、皆様方の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。